

今日はまず、昔のドラマの楽しみ方というところでお話をしてみたいと思います。

平日の午後でありますとか深夜の時間帯などにおきまして、かつて放映されていたドラマを再放送していることがあります。たまたまつけたテレビでこういうものをやっている、思わず見入ってしまうことがよくあります。そんなとき、なぜか私は、ストーリーの展開以外のものに関心が向いてしまいます。

まず、出演している俳優を確認したくなってしまいます。それがベテランの方であります、最近見かけないけれども元気にいらつしやるだろうかというようなことが気になります。一方、若い方でありますと、その他大勢の俳優の中に、今まさに主役として活躍している方の姿を見つけて、思わずうれしくなってしまうこともあります。

関心が向くもう一つは小道具であります。かつてよく目にした柄の鍋や食器などが置いてあったりすると、自分の子供時代の台所の風景がふつとよみがえってきてしまいます。

比較的新しいところだと、電子機器にも目が行きます。アンテナを伸ばして使う携帯電話

でありますとか、今とは形や大きさが違うパソコンなどであります。こういうものが目に入りますと、そういえば、こういうものを使っていたなというようなことも思い出されます。

そのほかにも、ファッションでありますとかヘアスタイルなどにもつい注目してしまいます。皆さんは昔のドラマをどのように楽しんでいきますか。たまには親子でいろいろ今と比べながら見るといったのもいいかもしれません。

次のお話に移ります。

昨年夏のことでありますが、お米が店頭から消えるということが起こりました。スーパーマーケットのふだんはお米が置いてある棚に何も無いのを見て驚きました。さらには、都会ばかりでなく、米どころと言われる地域でも同じようなことが起こっているのを知って、今度は、何でこういうことになっているのかという疑問が湧き起こってきました。

かつて米が大幅に不足し、平成の米騒動と言われる事態が起こったときは、理由がはっきりしていました。大変な冷夏となり、例年をはるかに下回る量しか収穫できなかったからであります。

しかし、今回のケースでは、なぜこういう事態になったのか、納得のいく説明をなかなか聞くことができないのであります。

政府は、新米が出回る季節になればこのような事態は解消されるという説明を行いました。確かに店頭にお米は戻ってきましたが、価格の上昇は止まりません。最近では、ほぼ昨年倍の水準にまでお米の値段は上がってしまいました。政府は非常用に保管しているお米を市場に出すなどの対策を進めていますが、効果は限られてるように思います。

お米が足りなくなったり価格が高くなったりする要因について、様々なことが言われています。その中で私が注目するのは、お米の生産量もともと足りないのではないかというものであります。生産量に余裕がないためにちよつとした需要の変化にも対応できない状況になっているというのであります。

現状をしっかりと見据えたより効果的な対策が待たれます。(丁)